

もっと知って欲しい！
魅力ある農業のこと。
JAのこと。

2024 9
vol.354

あとな



農業を続けて農地を守り続ける

京田辺市 前川 亮さん (35)

JA 茄子部会が出荷する京都田辺茄子は「千両2号」という品種で、味や色つやが良く、皮がやわらかくて肉厚なのが特長の特産品です。

JAでは後継者不足の課題解決のため、京都府、京田辺市と連携した農家養成塾を開講するほか、共同選果場を設立し、出荷作業の省力化に取り組みなど、生産振興に取り組んでいます。

就農

コロナ禍を機に会社員を辞めて地元へ戻り、農業へ転職した前川さん。「専業農家だった祖父の姿を見ていつかは農業をしようかなと就農への意識を持っていました。コロナ禍で転職を考えた時、農業が選択肢として





選果場へナスを持ち込む

農業の魅力

「農業は自分の裁量でできる仕事なので、自分自身には合っているのだと思います」と話す前川さん。会社員時代と違って全てに責任を持つて仕事をすることになります。自分のペースで作業をすすめられることが農業の魅力だとナス栽培に挑戦し

浮かび上がりしました」と話します。農業の経験が無い中で就農だった前川さんですが、『ナス農家養成塾』の存在を知り、はじめての農業でも教わる環境があったのは、魅力的だったと振り返り、「私が就農した頃、すでに祖父は亡くなっていたので農業を教わることはできませんでしたが、この塾があったので、全く経験のなかったナス栽培を始めることができました」と話します。



JAの職員とほ場を確認

分のペースで作業をすすめられることが農業の魅力だとナス栽培に挑戦し



ナス農家養成塾の修了式

課題です。JAの職員とほ場を確認しながら次期対策など、さらに栽培管理の質をあげようと積極的に相談しています。

今後の展望

「今後、農家養成塾で教わった基本技術を忠実に実践し、作業スピードや栽培管理の技術を高めていきたいです。しかし、連日40℃に迫る暑さは、どの先輩農家も経験したことがないので、トライ&エラーの毎日です。毎日、ほ場の水管理には気をつけています」と前川さんは話します。

初年度は、300本の作付けでしたが、毎年作付けを増やし、4年目の今作は700本になりました。6月から11月の収穫期になると毎朝4時から正午くらいまで収穫をしており、作付け本数が増えても作業時間はあまり変わっていません。スムーズに作業がすすめられるようになり、今後は定植前のほ場作りが

しかし、そんな中でも前川さんがナス栽培を続けているのは、地域の農地を守りたいという思い

があるからです。「都会の人と違い、我が家には先祖代々引き継いできた農地があります。私は、この農地を守り続けていきたいと思いい、農業をはじめました。私ひとり、地域の農地すべてを守ることはできませんが、我が家の農地を守ることは地域の農地を守ることに繋がると信じています」と話します。前川さんは「これからもナス栽培を通じて農地を守り続けていきたいです」と意気込みます。

支店からの一言

就農4年目ですが、非常に努力家で農家養成塾で学んだことを実践し、年々出荷量も増えていきます。若手の担い手として今後のさらなる活躍を期待しています。

京田辺支店
営農経済課長 白波瀬仁司

TOPIC YAMASHIRO

やましろ地域農業振興にむけて取り組んでいます

第30回農機大展示会

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



トラクタの説明を受ける来場者

8月2日と3日にけいはんなプラザ(精華町)で第30回農機大展示会を開催。コンバインやトラクタなど多数の最新農機を展示しました。

今年度は、JAと地域住民との交流の場とし、幅広い世代に参加してもらおうと農産物オータクションや山城産ヒノヒカリの



実践農場のメロンを販売

おにぎり試食会が行われ、両日も、おにぎり試食会では用意した200個が瞬く間になくなる人気ぶりでした。

また、JAが茶農家の所得増大をめざして展開するオリジナルブランド抹茶「抹茶」を使用したスイーツや将来の山城農業を担う人材の育成をめざす「担い手養成実践農場」の1期生が育てたメ

ロンなどを販売しました。

JAでは、毎年多くの方にご来場いただいているイベントなので、展示会の枠を超えて楽しんでもらおうと農機展示以外のブー

実習すすむ実践農場のメロン好評

管内の基幹的農業者が減少するなか、JA自らが担い手を創出するために今年4月から「JA京都やましろ担い手養成実践農場」を立ち上げました。農産物の売上が1000万円を超える担い手の育成を掲げ、第1期生として3人を受け入れました。

実習生はこれまで、トマトや万願寺とうがらし、九条ねぎなど管内特産品のほか、メロンの栽培実習にも取り組みました。

同メロンは、第30回農機大展示会で販売したほか、JA農産物直売所でも販売して好評を得ました。

これを受けて、実習生の指導にあたる営農部の職員は「メロンは山城地域の特産品として生産されていませんでしたが、今回の取り組みを通して新しい特産品になる可能性を感じました」と話し

スを企画・設置しました。今回のイベントをきっかけに、JAのファンが増え、事業利用の拡大につながることを期待しています。



メロンを収穫した実習生

ています。

メロンの栽培実習を経て、実践農場では実習生のスキル習得にとどまらず、山城地域の新しい方向性を探るヒントが発見できる取り組みであることを再確認しました。

今後も、担い手を養成するとともに、山城地域農業の発展に向けて取り組んで参ります。

TOPIC YAMASHIRO

やましろ地域農業振興にむけて取り組んでいます

J Aが茶工場の「有機JAS」 認証取得を支援

J Aでは、国の事業を活用して茶生産者のニーズに合わせた支援に取り組んでいます。

昨年度から茶工場の有機JAS認証をめざす方を対象に、認証に係る経費を補助する事業を活用した支援に取り組んでいます。

この事業は、有機JAS新規認証または継続認証の取得審査経費のうち対象経費の半額以下を補助し、また有機JAS制度の運用改

善策の導入調査を行う事業です。審査経費の最大半額（新規認証事業上限20万円、継続認証事業上限15万円）の補助を受けることができます。

J Aでは、今年度第3回公募（期間10月15日～17日）に向けて引き続き支援を行っていますので、興味のある方は茶業センターへお問い合わせください。

応募要件 1～6の全てを満たすこと

- 1：有機JAS認証を取得している、または新規認証取得予定であること。
- 2：有機品の売り先を確保している、または「有機農産物の生産行程管理者」/「有機飼料の生産行程管理者」の認証をグループで取得（予定を含む）していること。
- 3：登録認証機関による有機JAS実地調査および審査経費の支払いは、交付決定通知受領後であること。
- 4：登録認証機関から判定結果通知を受け取り審査経費の支払いが終わりしだい、速やかに「実績報告兼請求書」を提出できること。最終提出期限は2025年2月10日。
- 5：地元自治体、農林水産省・農産局等から本事業（有機認証費用）の補助金交付を受けていないこと。
- 6：農林水産省が2021年に公表した「有機JAS制度の運用改善策」の実証調査のため、「有機JAS制度の運用改善策」のうちいずれかを導入（見込みを含む）していること。あわせて、有機JAS制度の運用改善策導入前後の作業時間等の変化について、JAS協会が行う調査等に協力すること。



やましろ通信

「地域共生社会をめざして」

2024.9

代表理事専務 もり た はる お 森田春生

最近、農作業をしていて農業がやりにくくなったと感じることがあります。

これまで、雑草の生えた農道を気兼ねなくトラクタを運転していましたが、今ではアスファルト舗装された道路に土が落ちないか気をつけながらの移動です。鳥獣被害防止の電気柵も散策されるハイカーたちに危険が及ばないか心配です。田舎暮らしの私でさえ気苦労の多い農作業、都市近郊の農家なら尚更です。住宅地との混住化が進む地域での農作業は近隣住民への配慮は欠かせません。堆肥など有機物の散布で住宅地に悪臭が漂わないか、農機の音は騒音となっていないか、野焼きで洗濯物を汚さないかといった具合です。

一般的には、安全安心な米や野菜を丹精こめて育てる農家の存在は、多くの国民から理解を得ていますが、いざ身の回りで起こる臭いや音は住民からの苦情となりかねません。人は誰でも食への関心は高いですが、農への

関心はそうでもありません。

J A運動を通して農家と地域住民が、共存共栄できる社会への橋渡しに思いを巡らせます。

例えば、J Aが農家の労働力不足の一助として設けた労働力マッチング支援サービスや援農ボランティアを募り、近隣住民が草刈りや水路掃除を体験することで水田の貯水力が地域を災害から守っていること、水源涵養機能があることなど、農業が果たす多面的機能を知ってもらう機会になれば、消費者の理解も深まると思います。

前述したように食（消費者）と農（農業者）が互いに理解し合うのは容易ではありません。

そこでJ Aが総合力を発揮して地域住民と農業者が共に楽しく生き生きと暮らせる「地域共生社会」をめざすとともに、地域の活性化にも取り組んでまいります。

まずは、J Aの協力組織であり優れた食通でもあるJ A女性部を拡大することで、食と農のファンづくりに取り組みます。加入者には女性部メンバーズカードを発行して、地域の協力店や提携先ホテルで食事や買い物をする際に、優待特典を受けられる仕組みをつくり、女性部の輪を広げる動機づけにしたいと考えています。

山城地域には安全な農産物を一生懸命育ててくれる農家がいって安心、地元農産物を優先的に買ってくださる地域住民がいって安心と思える社会をめざし、ともにこの地域に住んでいてよかったと実感できる未来をめざして。



地域の話題



木津支店



久御山町支店

各地で夏まつり

久御山町支店(7月13日)や木津支店(7月20日)、八幡市支店(8月10日)、和束町支店(8月17日)で夏のJAフェアが開催されました。

地元新鮮野菜や女性部の加工品販売、秋肥の予約販売を行ったほか、ゲームコーナーなどを設置して幅広い年代が楽しめるイベントとして実施しました。

イチジクが旬を迎える

城陽市特産のイチジクが旬の季節を迎えました。

早朝から収穫されたイチジクは、首都圏へ出荷されています。

今年から両親とともにイチジクの生産に携わる西村康平さんは「おいしい城陽市のイチジクをもっと多くの人に食べてもらいたい」と話しています。



イチジクを収穫する西村さん



ほ場を確認して意見を交わす

夏の栽培管理を学ぶ

7月23日、えびいも部会は夏場の栽培管理を学ぶために、京田辺市内の部会員のほ場を巡回して土壌の特性に応じた管理方法を確認。雑草対策や今後の水管理などについて意見を交わしました。

同部会の小山順義部会長は「この研修で栽培管理の方法を学び自己研鑽に励んでいただきたい。そして、自分が育てているえびいもに合った育て方を見つけてほしい」と呼びかけました。

宇治茶止め市 過去最高の伸長

7月31日、JA全農京都宇治茶流通センターで2024年度産の宇治茶取引を締めくくる止め市が開かれました。

この日までの取引総額は43億4,053万円(前年比122%)でインバウンド需要や輸出増加で4年連続で拡大しています。

入札販売会後の式典でJA全農京都の宅間敏廣本部長は「生産者の努力と茶業者の高値入札で、日本一高い市場として設立50周年にふさわしい取引実績となった。今後も利用しやすい、注目される市場をめざす」と茶業者らに感謝を述べました。



品質を確認する茶業者ら



今年のでき確かめる生産者

ハス出荷へ目合わせ会

7月30日、城陽支店ハス共撰グループはお盆にむけてハス(花、蓮台、葉)の出荷を始めました。

初日は、目合わせ会も行われて生産者と市場担当者が出荷規格を確認したほか、他産地の状況や今年の需要動向について情報交換しました。

市場担当者は「城陽のハスは他にない最高級品で花も葉も大きく品質が良い」と話し、昨年よりも多い出荷を呼びかけました。

出荷は8月中旬まで続きました。

東北巡る企画旅行

7月18日から20日にかけて、中宇治支店は第3弾宇治基幹支店長企画旅行を実施し、22人が青森県、秋田県の豪華秘湯巡りと八甲田山、十和田湖、角館周遊を楽しみました。

参加者は「企画旅行では、個人ではなかなか行けない場所に行けるので毎回楽しみです」と話しました。



十和田湖周遊を楽しんだ一行



熱心に講義を聞く部員等

食品加工部会研修会 食品衛生と地域特産品の開発を学ぶ

女性部食品加工部会連絡協議会は7月24日、JA本店で食品衛生に関する研修会を開きました。

当日は公益財団法人京都産

業21から派遣された経営技術研究所の奥田晴彦さんを講師に招き、食品衛生管理と地域特産品の開発について講義を受けました。

奥田さんは製粉会社に勤務していた経験を交えながら「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」について丁寧に説明しました。

参加した部員のひとり「日頃当たり前だに思っている手洗いや器具の洗浄についても大切さや意義を再認識することができた」と話しました。

また、同会の松本雅代会長は「誰が加工に携わっても一定のルールで加工ができること、そしてそのことを記録に残し、何か起きた時の対応策を考えておくことが大切です。基本に立ち帰り、明日からの加工に励んでいきましょう」と部員に呼びかけました。

部員の声を実現 和菓子作り楽しむ



丁寧にまるめる

宇治田原町支部は7月24日、お菓子作り教室「簡単、季節のお菓子を作ろう!」を開き、部員9人が参加しました。同支部の役員会で季節に合ったお菓子を作りたいという声があがったことをきっかけに企画しました。

当日は、同支部の笹木相子副支部長ら3人の部員を講師に、琥珀糖のゼリーと水まんじゅう(葛まんじゅう)の作り方を教わりました。琥珀糖のゼリーは色を付け

9月号 今月の読みどころ

家の光

今月は、p.67～p.74「身近な場所に潜む危険生物から身を守るう!」です。

クマ、スズメバチ、ヘビ、マダニを近づけない対策と身を守る方法を紹介しています。

9月号(定価922円)



てカラフルに、水まんじゅうは透明な生地にあんを包んだものや抹茶の生地にあんを包んだもの、抹茶の生地にももの缶詰めを包んだものなど3種類の味を作り、完成したお菓子を味わいました。

参加者は「琥珀糖のゼリーも水まんじゅうも買ってしか食べたことがなかったけれど、どれも簡単に作れておいしかった」と話しました。

苔テラリウムで 親睦深める



わきあいあいと作品作り

城陽市支部は7月12日、三重県多気郡多気町への日帰り旅行「VISION満喫の旅」を実施し、部員38人が参加しました。

一行は、2021年にオープンした日本最大級の商業リゾートVISIONを訪れ、自然豊かな施設で食事や苔テラリウム作りを楽しみました。

昼食は日本料理人の笠原将弘さんが監修する「笠庵 賛否両論」で和食を味わいま

た。

昼食後は「kind」で苔テラリウム作りに挑戦しました。小さなガラスの容器にコケや石、流木などの素材を配置していき、各々が個性的な作品を作っていました。

参加者は「当日は大雨で足元が悪く施設内の移動も大変でしたが、他の部員と交流ができた、苔テラリウム作りができて楽しかったです」と日帰り旅行を満喫しました。

同支部では、毎年2回旅行を実施して親睦を深めています。



ピンセットでガラス容器に素材を配置



撮影：JA京都やましろ

おいしく 食べよう!

〈女性部城陽市支部のレシピから〉

今月は…

まるごとイチジクの肉巻きソテー

材料 (2人分)

イチジク	2個
豚肉	6枚
塩	適量
コショウ	適量
サラダ油	適量

作り方

- ① 豚肉に塩・コショウで味をつけ、3枚ずつイチジクに巻く。
- ② フライパンにサラダ油をひいて熱し、①を入れて肉に火が通るまで転がしながら焼く。
- ③ 器に②を盛り付けてお好みのドレッシングをかけて完成。

げんきっ子 あつまれ!

木津川市

まつもと わかな
松本 和奏さん(5歳)

「マヨネーズを作りました」

この前、JAのミニちゃぐりんスクールでお父さんと一緒にマヨネーズを作りました。

今まで、お家ではカレーを作るお手伝いをしたことがあったけれど、マヨ



ネーズを作ったのは初めてなので、材料を混ぜるのが難しかったです。

でも、食パンにハムやチーズを挟んで作ったサンドイッチにできたマヨネーズを塗って食べるととってもおいしかったです。

おいしくつくくれたので、もう一回作ってみたいです。今度は、お好み焼きを作って手作りのマヨネーズで食べてみたいです。



おいしいサンドイッチができました

元気なお子さん大募集!

現在がんばって取り組んでいるお子さんを募集しています。
ご登場いただける方は、15ページの宛先までご連絡ください。
(自薦・他薦を問いません)

JA共済からのお知らせ! こども共済資料請求キャンペーン

Web限定
先着
45,000
名様

キャンペーン期間中に「こども共済」の資料をご請求いただいた方に

JA共済オリジナル アパンマン
マルチポーチプレゼント!!

スナップボタン付きで
ベビーカーなどに
取り付け可能!

応募期間	2024年4月1日(月)~2025年3月27日(木) ※数に限りがございますので、なくなり次第終了とさせていただきます。
応募資格	キャンペーン期間中に「JAのはじめて共済」サイトからこども共済の資料をご請求いただいた方

資料請求はこちらから

JAのこども共済

検索

<https://shiryu.ja-kyosai.or.jp/kodomo/lp-cp.html>

または <https://www.ja-kyosai.or.jp> からアクセスできます。



※賞品はご請求いただいた資料に同封して発送させていただきます。※賞品の仕様・デザインが変更となる場合があります。〈仕様〉素材：ポリエステルなど 本体サイズ：約23×20×5.5cm

参加者
募集中!

第40回 JA 京都府 ママさん大学

大谷山荘に泊まる！パワースポットの旅

萩・長門湯本温泉 3日間



日程 2024年11月26日(火)～28日(木)

募集人数 80名 (最小催行人数 35名)

旅行代金 129,800円(4～6名一室利用)

申込金 20,000円 (旅行代金に充当します)

締切日 2024年10月25日(金)

ママさん大学のこだわりポイント

- ① 往復新幹線利用での旅となります。
- ② 名旅館に宿泊していただきます。
- ③ 府内JA女性部での交流をお楽しみください。
- ④ 人気のパワースポット元乃隅稻荷神社やCMでも有名な角島大橋の絶景をお楽しみください。
- ⑤ 萩遊覧船や萩絵付け体験をしていただきます。
- ⑥ お食事は地元名物料理をご賞味ください。
- ⑦ ゆったりとした行程内容としております。
- ⑧ 全行程観光、食事付き・添乗員同行で安心です。



1日目のご宿泊先
萩温泉 萩本陣



2日目のご宿泊先
長門湯本温泉
大谷山荘



農地を「貸したい人」
「借りたい人」いませんか？



JAがマッチングをお手伝いします！

掲示板を設置

JAの支店に掲示板を設置して、「貸したい農地」と「借りたい担い手」の情報を提供しています。



農地貸借の活性化

農地貸借の活性化を図り、担い手へのスムーズな農地の集積が実現することをめざします。

農地を「貸したい」または、販売農家として「借りたい」とお考えの組合員のみなさんは、ぜひ一度お近くのJA支店にご相談ください。

※この取り組みは、市町村別運営協議会での協議を経て実施します。支店によって実施状況が異なる可能性がありますので、ご了承ください。



直売所 イベント情報

五里五里市 ☎0774-53-0072

8月31日～9月1日 イチジクフェア
城陽特産朝採り完熟イチジクをたくさん取り揃えて
お待ちしております！

四季彩館 ☎075-983-8181

7日、8日 馬路村ゆずみそを使った一品をご提案。
その他、馬路村商品を多数販売予定
19日～25日 お彼岸フェア開催！
お墓参り用の花をお買い得価格でご用意してお待
ちしております。

にこにこ市 ☎0774-63-6677

15日～25日 お彼岸フェア開催！ご予約承ります。

なごやか市 ☎0774-82-2046

15日～ お彼岸フェア開催！仏花、墓花のご予約承り
ます。スプレー菊、小菊など多数取り揃えてお待ち
しております。

307ふる郷市・宇治茶の郷 ☎0774-88-2629

19日～25日 彼岸のお花たくさん入荷予定です。
冷たい抹茶ソフトクリームも好評販売中です！
インスタグラムを毎日更新しているので見てもらえ
ると嬉しいです。アカウント名「ujityanosato.307」。

グリーンマーケット精華 ☎0774-94-5698

17日～25日 お彼岸フェア開催！
9月から店舗改装のため、仮設店舗で営業します。

花野果市 ☎0774-72-0080

17日～21日 お彼岸フェアを開催！
20日 はつか市を開催！

JAカード
限定！

9月・10月は
おトク！

JA直売所
のご利用が **15%**

JA農産物直売所で対象期間中にJAカードを
ご利用いただくと、ご利用金額合計の10%相当
分をポイント還元！

いつもの5%割引と合わせて、15%相当がおト
クにご利用いただけます！

いつでもおトクなJAカード特典！

JA直売所のご利用は
請求時 **5%** 割引！



9月・10月限定！キャンペーン

JA直売所の
ご利用金額の **10%相当** ポイント還元！

対象期間 2024年9月1日～10月31日 還元時期 2025年1月

JAカードのお申し込みは、お近くの支店へ

JA京都やましろ農産物直売所 出荷会員募集！

農産物を出荷いただける方を募集しています。

新鮮

良質

安心



な農作物を

JAの農産物直売所で販売しませんか？

興味のある方・入会条件は、
各店までお問い合わせください

五里五里市

TEL.0774-53-0072
(9:30～16:00)

四季彩館

TEL.075-983-8181
(9:30～16:30)

にこにこ市

TEL.0774-63-6677
(9:30～16:00)

なごやか市

TEL.0774-82-2046
(9:30～15:30)

宇治茶の郷(307ふる郷市)

TEL.0774-88-2629
(平日9:30～15:30 / 土日祝
9:30～16:30)

グリーンマーケット精華

TEL.0774-94-5698
(9:30～16:00)

花野果市

TEL.0774-72-0080
(9:30～16:30)

新しい仲間募集中!

学ぼう。遊ぼう。楽しもう。

JA 京都やましろ女性部とは

「つながろう つなげよう 想いを一つに」をテーマに、部員が健康で活き活きと豊かに暮らしていくため、12の支部を拠点として部員同士の「つながり」を強め、活動の輪を地域・次世代にひろげようと活動しています。

JA 京都やましろ女性部で、新しい仲間と会いましょう!

お問い合わせ JA 各支店または、お知り合いの女性部員さんへお気軽にお声かけください。

9月の各種無料相談日など 予約制

相談日は変更になる場合がございます。

- 予約制です。各開催日の1週間前までに支店備え付けの申込書にご記入のうえ、窓口でお申し込みください。
- 定員になり次第締め切らせていただきます。お申し込み後のキャンセルはご遠慮ください。

税 務 相 談	
市原会計事務所	黒木正税理士
京田辺支店 10日(火)午後	加茂・和束町支店 9日(月)午前
城陽支店 11日(水)午前	(会場: 加茂支店)
井手町支店 11日(水)午後	南山城村支店 9日(月)午後
山城支店 12日(木)午前	中宇治支店 18日(水)
宇治田原町支店 12日(木)午後	精華町支店 25日(水)午前
久御山町支店 18日(水)午前	木津支店 25日(水)午後
八幡市支店 18日(水)午後	

法 律 相 談	
中川泰臣弁護士	近畿合同法律事務所 所属弁護士
4日(水) 9:00~本店	26日(木) 9:00~本店

お困りごとはまず、JA 総合相談窓口へ

JAは総合事業の強みを活かして、皆さんのお困りごとの解決に向けてお手伝いする総合相談窓口を各支店に設置しています。まずは、JA各支店にご相談ください。

巳年さん この指と〜まれ

出演者
募集中

JA広報誌『あとれ』2025年1月号の新年号企画にご登場いただける「巳(み)年生まれさん」を募集しています。

このコーナーでは、巳年生まれさんのお写真と年賀状をご紹介します。ご登場いただける方は、15ページの宛先まで必要事項を記入の上、ご連絡ください。

皆さんからのご応募お待ちしております。

ご登場いただける方

山城地域に在住の「巳年生まれ」の方

必要事項

お名前・電話番号・住所・生年月日

応募締切

2024年10月31日(木)

※お寄せいただいた個人情報は、当コーナーの目的以外では使用しません。



「あなたの声を聴かせてください」運動の主な内容

「あなたの声を聴かせてください」運動を通じて組合員や利用者の皆さんのさまざまなご意見・ご要望をいただき、事業運営に反映させていただきます。

JA京都やましろ企画旅行のご案内を支店職員さんからいただき、1泊2日の旅行で夕食時には、宴席があると聞きました。

夕食については、ツアー形式で自由に食事ができる形にしてはいかがですか？



JA京都やましろ秋の企画旅行は、参加者の親睦を深める目的で宴席を設けていますが、ツアー形式で

自由に食事が楽しめる企画もご用意していますので、是非、ご参加ください。

夏のJAフェア、JAまつりに参加しました。いろいろなお店の出店があるので、いつも楽しみにしています。



ご来場いただき、ありがとうございました。新鮮な地元農産物販売のほか、青壮年部や女性部の部員も参加して盛大に開催することができました。11月から12月にかけて、秋のJAフェア、JAまつりを開催予定です。また、各支店の開催情報をまとめたチラシを10月下旬に配布いたしますので、ぜひご来場ください。



JAの近況

	2024年7月末	2023年7月末
組合員数	30,868人	30,446人
第1号組合員	13,591人	13,282人
第3号組合員	17,277人	17,164人
貯金残高	3,423億2,037万円	3,448億8,693万円
貸出金残高	607億5,505万円	588億8,450万円
長期共済保有高	6,077億8,723万円	6,264億7,483万円
販売品取扱高	50億4,212万円	40億3,066万円
購買品供給高	10億2,495万円	9億9,655万円

理事会報告

(2024年8月1日開催)

(協議事項)

- 不良債権にかかる債権回収方針について協議しました。
- 共済事業の共同実施に関する契約の再締結について協議しました。
- 2025年度京都府農業政策・予算要請について協議しました。

第28回

やましろの四季

フォトコンテスト

入選作品のご紹介



佳良賞

「蓮酒で談笑」 北川 茂博さん

撮影場所・宇治市



おたより コーナー

無事に美味しく成長してくると、とても嬉しいですよ。

井手町 林順子さん

植木鉢のミニトマト(アイコ)に青い実がなり始め、いつになったら赤くなるんだろうと心待ちにしています。やっと色づき始め、昨日やっとな赤い実を5個収穫しました。今後も楽しみです。

京田辺市 山村美代子さん

キュウリを育てています。毎年病気との戦いです。

先日、子、孫、ひ孫の4世代(5〜88歳)でさくらんぼ狩りに行ってきました。甘くてとても美味しかったです。ここまで育てるのに農園の方々も大変だったことでしょうね。一昨年はいちご狩りに久御山町へ寄せてもらいま

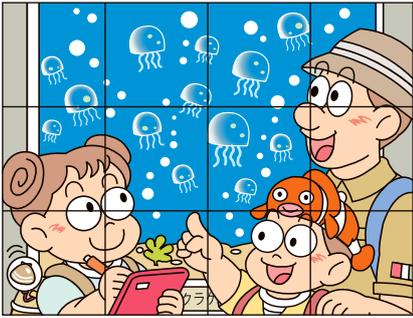
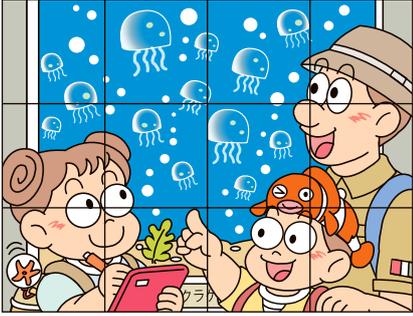
した。いちごも甘くて美味しかったな。山城地区のフルーツ狩り、これからも楽しみます。

宇治田原町 上野キミエさん

畑仕事の初心者で、近所のおばあちゃんに指導していただいています。栽培も大変ですが、サル、イノシシ対策のほうももっと大変だと痛感しました。キュウリやナスが被害に合い、しょんぼりです。

和束町 尾崎昌之さん

まちがいがし



正解者の中から抽選で10名の方に「図書カード500円分」をお送りします。



下のイラストには上のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左の枠内の数字で探してください。

前回の答え「1,3,8,10,12」でした。

応募締切は
9月15日です



精華町 中谷圭子さん



宇治市 俣野純子さん



宇治市 森下朝子さん



井手町 古川雅子さん

クイズの答え・お便り・イラストなどはこちらまで

(敬称略)

※お寄せいただきましたお便り、eメールの個人情報につきましては、おたよりコーナーの目的以外には、使用いたしません。

- ①クイズの答え
 - ②関心を持って 読んだ記事
 - ③お便り・イラスト・写真など
- おたよりコーナーなどで紹介する場合があります。(ハガキ裏面)

610-0331
京田辺市田辺鳥本1の2
JA京都やましろ
ふれあい課宛
あなたの住所
氏名

当選者発表

(352号)

宇治市	岡本喜久雄
城陽市	市口正博
京田辺市	西嶋ゆかり
井手町	阿部五十治
宇治田原町	安富英美
精華町	来久保
木津川市	白山知子
南山城村	加田紀子
	和智

表紙写真

城陽市特産のイチジクを生産する西村康平さん。

編集後記

9月は防災月間です。いつ起きるかわからない災害に、日頃の備えを見直したいと思います。(も)

✉ eメールアドレス: atore@ja-yamasiro.com

JA 京都やましろは、地域でがんばる 農業者を応援しています！

各種資金をご用意！

農業経営資金

標準金利《変動金利》年 1.30%が、最大 1%、最長 10 年間の利子補給で

変動金利
年 **0.30%**

保証料 (年 0.32%)
別途必要

お使いみち

農業用建築物資金、農業用機械機具資金、果樹等永年性植物植栽育成資金、家畜等購入育成資金、農地等の取得改良資金、経営資金、収入保険制度資金
※お使いみちそれぞれの借入限度額は 5,000 万円となります。※上記のお使いみちにかかる制度資金からの借換資金についてもご相談可能です。

<ご利用いただける方>

- ◎組合員の方、またはご融資時までに組合員になれる方（組合員以外の方は、一定の手続きが必要となります）
- ◎農業を営む方および農業に従事する方
- ◎ご融資時の年齢が満 20 歳以上で、最終償還時の年齢が満 78 歳未満の方
- ◎農業を営む法人および農業者によって組織される任意団体。
- ◎その他 JA が定める条件を満たしている方

<ご返済方法>

- ◎元利均等返済または元金均等返済です

<担保>

- ◎原則、不要です
ただし、必要に応じて保証人・担保をご提供いただけます

<保証>

- ◎京都府農業信用基金協会の保証をご利用いただけます

<保証料率>

- ◎年 0.32%

<その他>

- ◎ご利用中に繰上返済を行う場合や返済条件を変更する場合には、別途当 J A 所定の手数料が必要となります

農業近代化資金

ご利用いただける方

- 認定農業者
- 認定新規就農者
- 一定の要件を満たす農業者
(個人・農業法人・任意団体)



お使いみち

- ◆農業用施設および農機具等の改良、造成、取得、復旧
- ◆永年植物の植栽または育成
- ◆小規模（事業費 1,800 万円まで）な農地の改良、造成、復旧※復旧については認定農業者のみ
- ◆家畜の購入または育成
- ◆長期運転資金など

JA 新規就農応援資金

変動金利
年 **0.30%**

保証料 (年 0.572%)
も全額助成

農業経営にかかる設備資金・運転資金を
最長 12 年、最大 1,000 万円以内でご利用いただけます

ご利用いただける方

- 組合員の方（これからなられる方）
- 55 歳未満の個人の方
- 就農開始 5 年目までの方
- 市町村から「青年等就農計画」の認定を受けた方、または「青年等就農計画」と同等の就農計画および終了証明書を J A に提出された方

お借入れにあたっては、審査が必要です。詳しくは、お近くの J A 支店にお問い合わせください。

実践的な研修で新規就農を支援！

研修内容

- ①栽培管理等の生産技術・知識に関する研修
- ②農業機械・機器・設備の操作方法、整備、安全対策に関する研修
- ③販売・流通・マーケティングの知識、帳簿や財務諸表の作成、労務管理等の農業経営に関する研修
- ④管内優良経営体先での実践研修
- ⑤栽培講習塾（ナス・えびいも等）への参加

研修場所

(株)ジェイエイヤマしろファーム
京都府綴喜郡井手町多賀流田 19-3

研修条件

研修年限 2 年
募集人員 毎年 3 人程度
研修支援 18 万円/月(就農準備資金・雇用就農資金を活用)
対象者 研修開始時に概ね 45 歳未満で、研修終了後に J A 管内で独立就農をめざす者



管内優良経営体先での実践研修

お問い合わせ先：J A 京都やましろ 営農部(担当:辻尾・青柴) TEL:0774-62-5890<お問い合わせ時間 平日:9時~17時>



https://ja-yamasiro.com http://uji-cha.kyoto http://ja-yamasironomogumi.com
e-mail atore@ja-yamasiro.com

Copyright© 2011 Kyoto Yamashiro Agricultural Cooperative All Right Reserved.

